

十和田市事務事業評価シート

【事務事業の概要】

整理番号	②-93	実施計画番号	117	事業開始年度	平成27年度
事務事業名	主食用米再生産緊急支援事業			事業終了年度	平成27年度
担当課名	農林畜産課			事務の種類(選択)	自治事務
根拠法令等	関連事務事業				
背景や経緯等	経営所得安定対策加入農家に対し、主食用米の種子購入等生産費を助成するとともに、米価下落に伴う収入減収を補てんする。				
事務事業の目的	平成27年度主食用米の再生産への意欲の向上を図る。				
実施状況	平成27年度米再生産に係る取組みに対し農家説明を実施した上、26年度米実績の作付台帳と、27年度米作付台帳を照合しそれを基に、漏れなく事業を展開した。				

【人件費の推移】

		26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
正職員	従事者数(人)		1	
	活動日数(日)		25	
	人件費(千円)	0	900	
正職員以外(選択↓)	従事者数(人)		6	
	活動日数(日)		25	
非常勤職員	人件費(千円)	0	1,110	

【事業費の推移】

	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
事業費合計(千円)	0	50,602	

【指標】

活動指標	活動指標名①		申請戸数			
	計算式等		単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
			戸		1,501	
	活動指標名②		申請面積			
	計算式等		単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
			ha		3,374	
成果指標	成果指標名①		申請者(戸数)			
	計算式等		単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
			戸	目標値	1,759	
				実績値	1,501	
				達成度(%)	85%	
	成果指標名②		申請者(面積)			
	計算式等		単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
			ha	目標値	3,571.0	
				実績値	3,374.0	
		達成度(%)		94%		

十和田市事務事業評価シート

【担当課による検証】

ポイント		検証(選択)	評価	点数	合計	検証の理由				
妥当性	①	市民ニーズ等から見る妥当性 市民ニーズや時代潮流の変化により、事務事業の役割が薄れていないか	A 薄れていない B 幾分薄れている C 薄れている	A 2	4	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <td style="text-align: right;">存在意義の見直しの余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">十和田市の基幹産業の中心である米生産において、平成26年度産米は例年より大幅に下落したため、その再生産を支援するため妥当である。</td> </tr> </table>	存在意義の見直しの余地	0 / 4	十和田市の基幹産業の中心である米生産において、平成26年度産米は例年より大幅に下落したため、その再生産を支援するため妥当である。	
	存在意義の見直しの余地	0 / 4								
十和田市の基幹産業の中心である米生産において、平成26年度産米は例年より大幅に下落したため、その再生産を支援するため妥当である。										
②	実施主体である妥当性 行政が実施することが妥当か(民間と競合していないか)	A 妥当である B あまり妥当ではない C 妥当ではない	A 2							
有効性	③	活動指標から見る有効性 活動指標の実績は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A 2	5	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <td style="text-align: right;">成果向上の余地</td> <td style="text-align: center;">1 / 6</td> </tr> <tr> <td colspan="2">年々離農者や耕作放棄等が増えている中で、達成状況は順調である。</td> </tr> </table>	成果向上の余地	1 / 6	年々離農者や耕作放棄等が増えている中で、達成状況は順調である。	
	成果向上の余地	1 / 6								
	年々離農者や耕作放棄等が増えている中で、達成状況は順調である。									
④	成果指標から見る有効性 成果指標の目標達成状況は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A 2							
⑤	事務事業の見直しの余地 成果を向上・安定させるため、事務事業の見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	B 1							
効率性	⑥	事業費の削減の余地 事務手順の見直しや正職員以外での対応により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A 2	6	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <td style="text-align: right;">コスト削減の余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 6</td> </tr> <tr> <td colspan="2">人件費等の事務費をかけずに実施されているため、これ以上のコスト削減は難しい。</td> </tr> </table>	コスト削減の余地	0 / 6	人件費等の事務費をかけずに実施されているため、これ以上のコスト削減は難しい。	
	コスト削減の余地	0 / 6								
	人件費等の事務費をかけずに実施されているため、これ以上のコスト削減は難しい。									
⑦	他の事務事業との統合・連携 類似又は関連事業との統合・連携により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A 2							
⑧	民間委託等 民間委託・指定管理者・PFI等により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A 2							
公平性	⑨	受益の偏り 現在の受益は公平か。特定の個人・団体に受益が偏っていないか	A 偏っていない B 多少偏っている C 偏っている	B 1	2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <td style="text-align: right;">受益者負担適正化の余地</td> <td style="text-align: center;">2 / 4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主食用米生産に限られていることから、公平性について偏りがあるとも言える。</td> </tr> </table>	受益者負担適正化の余地	2 / 4	主食用米生産に限られていることから、公平性について偏りがあるとも言える。	
	受益者負担適正化の余地	2 / 4								
主食用米生産に限られていることから、公平性について偏りがあるとも言える。										
⑩	受益者負担の見直しの余地 現在の受益者負担は適切か。見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	B 1							
			現在の適性	17 / 20	改善の余地	3 / 20				

【点数化による検証】

当該事業の現在の適性は20点中 **17** 点です。

当該事業の改善の余地は20点中 **3** 点です。

【担当課長による評価】

当該事業の今後の方向性(選択) ※事業終了年度がH27の場合は回答不要 ⇒

[]

方向性の理由 ※事業終了年度がH27の場合は回答不要

[]

今後の具体的な取組方策と狙う効果 ※事業終了年度がH27の場合は、『事業を実施したことにより今後見込まれる効果』を記載してください。

[]